乾隆幼稚園だより

令和8年度　前期園評価　特別号

令和 8 年 11 月 4 日
京都市立乾隆幼稚園
園 長 佐久間 寧子

保護者の皆様には、前期園評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

令和 8 年度前期 保護者アンケート結果

※数値は「大変そう思う」「そう思う」を合わせた肯定的評価の割合です。

※今年度は設問の見直しを行うとともに、一部項目に「わからない」の選択肢を新たに設けました。

※「わからない」の回答が特徴的であった項目は括弧内に割合を記載しています。

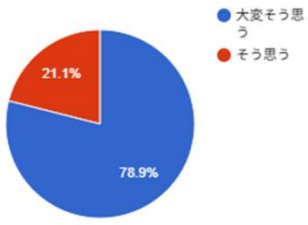
アンケート項目	R7 前期	R8 前期
幼稚園は、教育目標「心豊かにたくましく、生き生きと遊ぶ子どもの育成」に向けた保育を行っていると思いますか。	95.2%	100.0%
幼稚園の環境は、安全で、子どもたちが豊かな経験ができるように整えられていると思いますか。	95.2%	100.0%
お子さんは、幼稚園での生活を楽しんでいますか。	100.0%	100.0%
お子さんは、自分のやりたいことを見つけて遊んでいますか。	100.0%	100.0%
お子さんは、園で身近な自然（栽培物、生き物等）に興味をもってかかわっていますか。	100.0%	100.0%
お子さんは、身の回りのことを自分でしようとするようになってきていますか。	95.2%	94.8%
お子さんは、友達とかかわることを楽しんでいますか。	95.2%	100.0%
お子さんは、異年齢の友達に親しみをもってかかわっていますか。	85.7%	94.7%
保幼小連携等の取組は、子どもたちの経験や人とのかかわりを広げ、育ちにつながっていると思いますか。	90.5%	94.7% （わからない 5.3%）
小学校との連携は、就学への安心感につながっていると思いますか。	95.3%	84.2% （わからない 10.5%）
お子さんは、幼稚園での取組の中で地域や地域の方に親しみをもっていると思いますか。	76.2%	89.4%
お子さんは、安心して預かり保育に参加していますか。	100.0%	94.8%
ご家庭では、幼稚園での出来事などについて、お子さんの話を聞いたり、一緒に話したりする機会をもてていますか。	100.0%	94.7%
ご家庭では、お子さんと一緒に絵本を読んだり、お話を楽しんだりする機会をもてていますか。	71.4%	84.3%
幼稚園には、さくらんぼ組やいちご組（満 3 歳児）、預かり保育等の子育て支援の取組があることを知っていますか。	100.0%	100.0%
幼稚園は、お便り（子どもの姿）やホームページ等で、園での子どもの姿がわかるように発信していますか。	95.2%	94.8%
教職員は、子ども一人一人に温かくかかわっていると思いますか。	95.2%	100.0%
教職員は、生き生きと教育活動に取り組んでいると思いますか。	100.0%	100.0%

今年度は、保護者アンケートの設問を見直すとともに、「わからない」の回答欄を新たに設けました。その結果、本園の教育活動について高い評価をいただいていることに加え、幼保小連携や小学校との接続について、取組の意義や内容をさらに発信していく必要があることも見えてきました。

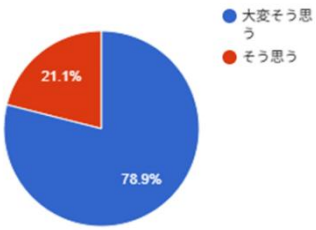
保護者の皆様から見えた子どもたちの育ち

保護者アンケートでは、

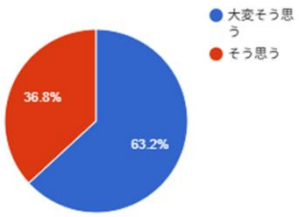
「園生活を楽しんでいる」100%



「やりたいことを見付けて遊んでいる」100%



「友達と関わることを楽しんでいる」100%



など、高い評価をいただきました。自由記述からも、子どもたちの成長を実感する声が多数寄せられています。

「やってみたい」が育っています.

- 運動会や日々の遊びを通して、子どもたちは自分なりの目標をもちながら挑戦しています。



という声も寄せられました。

【保護者の声より】

「挑戦する姿が増えました」

「最後まで頑張るようになりました」

「自信がついたように感じます」



人との関わりの中で育っています

友達との遊びや生活の中で、協力したり相手の気持ちを考えたりする姿が見られます。

「友達の話をよくしてくれます」
「協力することが増えました」
「周りを気遣う姿が見られます」



「みんなでがんばるぞ!エイエイオー!



という声もいただきました。

言葉で伝える力も育っています

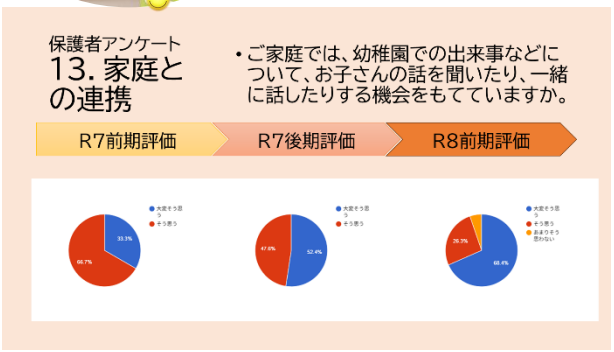
絵本との出会いや友達との対話、教師とのやり取りを通して、自分の思いや経験を言葉で表現する力が育っています。教師が「なぜ楽しかったの?」「どんなことが心に残ったの?」と問い返しながら対話を重ねることで、「楽しかった」だけでなく、「最初はドキドキしたけれど、一緒に遊んで楽しくなった」というように、自分の経験を言葉で語る姿が見られるようになっています。教師の言葉のシャワーが、子どもたちの言葉の芽吹きを支えています。

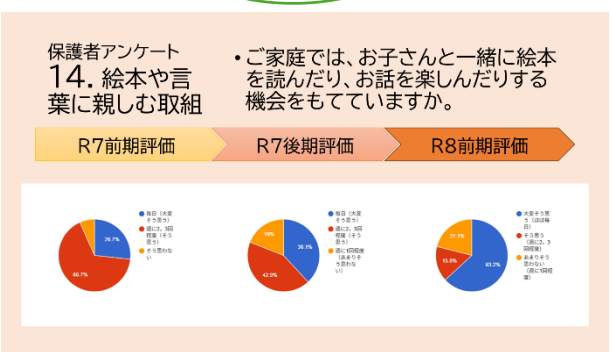




「毎日楽しそうに登園しています」
「先生方が温かく見守ってくださっています」
「安心して預けることができます」

たくさんの温かいご意見をありがとうございました。





「わからない」から見えてきたこと

今年度は、より実態に即した学校評価を行うため、一部の設問に新たに「わからない」の選択肢を設けました。その結果、本園の教育活動について高い評価をいただいている一方で、幼保小連携や小学校との接続に関する取組については、「わからない」という回答が見られました。

これは、取組が十分に行われていないということではなく、

幼稚園が大切にしている教育のねらいや価値について、保護者の皆様へより分かりやすくお伝えしていく必要があることを示していると受け止めています。

学校運営協議会でいただいたご意見

学校運営協議会では、アンケート結果をもとに成果と課題について協議を行いました。

評価していただいたこと

- ✧ 一人一人の育ちを大切にする保育
- ✧ 教職員全員で子どもを見守り支える体制
- ✧ 少人数園の特長を生かした温かな教育活動
- ✧ 地域とのつながりを大切にする取組



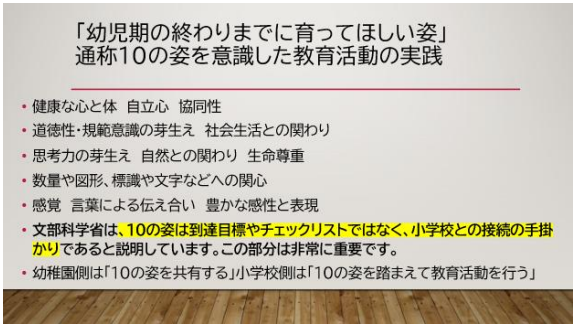
今後の課題としていただいたご意見

- ✧ 架け橋期の学びの理解と共有
- ✧ 保育を振り返る時間の確保
- ✧ 行事等における写真・動画撮影の在り方

架け橋期の学びについて

幼児期に育まれる

- ● 自ら考える力
- ● 人とかかわる力
- ● 挑戦し続ける力



は、小学校以降の学びへとつながっていく大切な力です。本園では、乾隆小学校との合同保育や交流活動、研究協議などを通して、幼児期の学びを小学校へつなぐ取組を進めています。

今回の評価結果と学校運営協議会でのご意見を受け、教職員を対象とした「幼保小の架け橋プログラムの意義」に関する園内研修を実施しました。

研修では、「幼児期に育った力をどのように小学校へつないでいくのか」について教職員全体で改めて共有し、理解を深めました。



今後に向けて

今回の学校評価から、子どもたちは着実に育っていること、そしてその育ちの価値をより分かりやすく発信していくことの大切さが見えてきました。今後も子どもの姿を通して、幼児期の学びや育ちを保護者・地域の皆様と共有しながら教育活動の充実に努めてまいります。

【意見を受け教職員研修、を実施しました。】

保護者・教職員の皆様からいただいた声

今回のアンケートでは、子どもたちの成長を実感する声だけでなく、本園への期待や今後への願いも寄せていただきました。教職員一同、一つ一つのご意見を大切に受け止めながら読ませていただきました。

幼稚園教育への理解と期待

- 「子どもの『やりたい』を大切にしながら保育していただいていることがよく伝わります」
- 「自然に触れる活動や様々な体験ができることをありがたく思っています」
- 「子どもの発想を認めながら保育していただいていることを感じます」
- 「幼稚園だからこそできる経験をこれからも大切にしてほしいです」

子どもの成長を実感する声

- 「以前より自分で考えて行動することが増えました」
- 「苦手なことも頑張ろうとする姿が見られるようになりました」
- 「友達との関わりが広がり、人との関わりを楽しめるようになりました」
- 「幼稚園での経験が子どもの自信につながっていると感じます」

教職員アンケートから

子ども一人一人を大切にする保育や、チームで子どもの育ちを支えることの重要性について改めて確認することができました。

自由記述からは、

- 「子どもの育ちを見取ることの大切さを改めて感じた」
- 「教職員同士で子どもの姿を共有することの意義を感じた」
- 「幼保小連携や架け橋期の学びについてさらに理解を深めたい」
- 「保育の意図や子どもの育ちを保護者へ丁寧に伝えていく必要がある」

といった意見が見られました。

写真・動画撮影について

自由記述では、写真や動画撮影に関するご意見も複数いただきました。

園では、子どもたちの安心・安全や個人情報保護を第一に考えながら教育活動を進めています。一方で、

- 「幼い頃の成長を記録として残したい」
- 「家庭でも思い出を振り返りたい」

という保護者の皆様の願いも大切に受け止めています。

このことについては学校運営協議会でも意見交換を行いました。その中で、子どもたちの安全確保と成長の記録の両立を図るため、「保護者証（ピンク名札等）を着用されている方に限り、写真・動画撮影を認める」ことを基本としながら、今後もよりよい在り方について検討を進めていくことを確認しました。

おわりに

今回の園評価を通して、子どもたちが主体的に遊び、人とかかわりながら着実に成長していることを改めて確認することができました。

また、「わからない」という回答や自由記述からは、幼保小連携や幼児期の学びの価値について、さらに丁寧に発信していく必要があることも見えてきました。

今後も保護者・地域の皆様とともに、子どもたちの豊かな育ちを支える幼稚園づくりを進めてまいります。

引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。